（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和　5年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで考えよう　温暖化のこと　副題　自分で考えよう　温暖化のこと
事業主体 （連絡先）	特定非営利活動法人チルドレンズ・ミュージアム 理事長　井口知彦
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,079,142　円（うち支援金：　1,663,000　円）

事 業 内 容

○小冊子「おんだんか」10 ページを手作りで制作し、子どもたちやスタッフの皆さんに配布しました。子どもたちはこの小冊子を勉強し、現在の地球の様子を学びましたが、隠すことなく「現実」を伝えることで、多くのことを学びました。自分たちが大人になった時、「温暖化」が脅威にならないため、今から知恵と知識を貯えなければまりません。また、CO2 問題に対し、実際に発電する発電模型 5 種を写真でなく「現物=現実」で観察する事で、脳の記憶に残ることを狙っています。

（活動写真

【おんだんか を学ぶ】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○小冊子「おんだんか」は参加したこと子どもたちが家に持ち帰ります。このような場を通じて家族や、友たち、学校に広く伝わることで、地域活性化に寄与します。
○計 15 回開催し、参加者数は 682 人(内保護者 3 人)
1 開催 45,5 人と盛況のうちに終わりました。

【目標・ねらい】

①「おんだんか」の今を知る
②エネルギーとしての発電を知る
③科学の原理を知る
④

※自己評価【 A 】

【理由】
○現実の環境問題を体を通して学ぶ機会としての内容を持つ事業です。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○新しいに内容に変化させ、総合的に環境問題を解決するため、の取り組みをしたいと思います。
○「おんだんか」が原因と思われる気候変動は、近年、ますます世界各国の問題として、発表されている。「おんだんか」は、これまでの科学的検証を含め、新たな科学的発見も想定されているが、この二極を同時進行形で捉えなければならない。今後の取り組みとしては、同じ位置での固定化した取り組みではなく、動きながら流動的な取り組み視点で「おんだんか」に対応したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある